

MEIKO REPORT

第46期 株主通信

(2020年4月1日から2021年3月31日)

証券コード：6787

株式会社 メイコー

財務ハイライト

売上高

119,257 百万円

営業利益

6,657 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

4,640 百万円

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 2020年3月31日現在	当期末 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	59,716	66,338
固定資産	69,520	75,701
有形固定資産	62,997	68,786
無形固定資産	827	927
投資その他の資産	5,696	5,987
資産合計	129,237	142,040
負債の部		
流動負債	52,064	59,182
固定負債	44,691	42,247
負債合計	96,755	101,429
純資産の部		
株主資本	32,116	36,256
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	6,464	6,464
利益剰余金	13,159	17,648
自己株式	△396	△745
その他の包括利益累計額	172	4,161
その他有価証券評価差額金	△8	39
繰延ヘッジ損益	30	250
為替換算調整勘定	375	4,127
退職給付に係る調整累計額	△224	△255
純資産合計	32,482	40,610
負債純資産合計	129,237	142,040

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期(累計) 2019年4月1日～ 2020年3月31日	当期(累計) 2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	115,479	119,257
売上原価	98,733	101,732
売上総利益	16,745	17,524
販売費及び一般管理費	11,556	10,866
営業利益	5,189	6,657
営業外収益	760	795
営業外費用	1,160	1,755
経常利益	4,789	5,697
特別利益	331	3
特別損失	1,855	641
税金等調整前当期純利益	3,265	5,059
法人税等	717	422
当期純利益	2,548	4,636
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△37	△4
親会社株主に帰属する当期純利益	2,586	4,640

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期(累計) 2019年4月1日～ 2020年3月31日	当期(累計) 2020年4月1日～ 2021年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,240	7,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,937	△9,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,249	△618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△325	501
現金及び現金同等物の期首残高	11,419	13,646
現金及び現金同等物の期末残高	13,646	12,121

財務のポイント

●連結損益計算書

受注面は第2四半期に回復基調に転じて以降好調を維持しております。販売面では、第3四半期連結累計期間までは前年同期比で減収となっておりますが、当第4四半期の売上が好調に推移した結果、過去最大の売上を計上しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、119,257百万円(前期比3.3%増)と前期と比べ3,777百万円の増収となりました。損益面では、営業利益が6,657百万円(前期比28.3%増)、経常利益が5,697百万円(前期比19.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が4,640百万円(前期比79.4%増)となりました。

●連結貸借対照表

総資産は、142,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,802百万円増加しました。これは流動資産において、現金及び預金が1,519百万円減少、受取手形及び売掛金が5,055百万円増加、たな卸資産が3,203百万円増加、固定資産において、有形固定資産が5,789百万円増加が主な要因です。

純資産は、40,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,128百万円増加しました。これは利益剰余金が4,488百万円増加、為替換算調整勘定が3,752百万円増加が主な要因です。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2021年3月期の業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **名屋 佑一郎**

通期の業績について

当連結会計年度における電子部品業界は、第1四半期に新型コロナウイルス感染症の影響を受け需要が大きく減少しましたが、第2四半期後半以降は経済が回復基調に転じ需要が拡大傾向で推移しました。一方で新型コロナウイルス感染症の再拡大や、半導体等の供給不足など不透明感も継続しております。

このような状況の中、当社グループでは、受注面は第2四半期に回復基調に転じて以降好調を維持しております。販売面では、第3四半期連結累計期間までは前年同期比で減収となっておりますが、当第4四半期の売上が好調に推移した結果、過去最大の売上を計上しました。商品別では、車載向け基板は、自動車生産の回復と電動化・電装化の流れを受け増加基調で推移しておりますが、今期前半の低迷の影響が残り前年同期比で若干の減収となりました。スマートフォン向け基板は、販売の回復と5G(第5世代移動通信システム)需要の立ち上がりを背景に前年同期比で大幅に増加しました。IoT/AI家電向け基板とEMS事業も好調を維持しました。収益面では、全社的なコスト削減策の推進や好調な受注を背景に工場の高稼働が継続し収益が拡大する一方、銅や金などの資源価格の高騰による材料調達コスト高騰など厳しい状況も継続しております。また、為替がドル円相場においては期末に円安で着地するなど増益要因が拡大しました。

次期の見通しについて

当社グループが属する電子部品業界は、自動車の生産台数回復と電装化の進展、5G化による需要の拡大が見込まれる一方、米中対立、半導体不足、新型コロナウイルス感染症の再拡大など不透明感も継続しております。

業績の見通しは、販売面においては車載向けの基板がビルドアップ基板へのシフトを伴いながら引き続き好調に推移するほか、スマートフォン向け基板についても5G用途の基板の増加を見込んでおります。また、収益面においては、資源価格の高騰による材料調達コスト高が見込まれますが、販売価格の見直しや全社的なコスト削減策の推進、工場の自動化・省人化投資などを通じて更なる収益性の強化を図ってまいります。

メイコーの中期生産戦略について

当社グループでは、お客様サービスを拡大し、基板製造のみならず開発設計段階から基板実装までの幅広い分野におけるご支援を提案させていただいております。取り組みの一環として、お客様の商品開発段階において、当社グループの調査・分析をベースに、中長期的な技術トレンドを踏まえて作成した技術ロードマップに基づくご提案を実施し、お客様のニーズに的確にお応えしております。また、製品のラインナップとして従来からの貫通基板やビルドアップ基板に加え、フレキシブル基板やモジュール基板など広範に対応し、生産は大量生産品から最先端基板分野の多品種生産まで幅広く、かつ安定的にお客様のご要望にご対応する生産体制を構築してまいります。

2021年3月期 連結実績 (単位: 億円)

	2020年度実績	2021年度実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	1,155	1,193	38	3.3%
営業利益	52	67	15	28.3%
経常利益	48	57	9	19.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	26	46	20	79.4%
期中平均為替レート(円/USD)	108.93	105.93		
配当	30円	20円		

2021年3月期 商品別収益実績 (単位: 億円)

	2020年度実績		2021年度実績		前年比	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
		営業利益率		営業利益率	伸び率	伸び率
車載	534	29	523	36	-11	7
		5.4%		6.9%	-2.1%	24.1%
スマートフォン タブレット	249	18	288	21	39	3
		7.2%		7.3%	15.7%	16.7%
AI家電・IoT・ アミューズメント	86	7	103	8	17	1
		8.1%		7.8%	19.8%	14.3%
その他基板	190	-2	163	2	-27	4
		-1.1%		1.2%	-14.2%	200.0%
EMS	96	0	116	0	20	0
		0.0%		0.0%	20.8%	-
合計	1,155	52	1,193	67	38	15
		4.5%		5.6%	3.3%	28.3%

2022年3月期 連結業績予想 (単位: 億円)

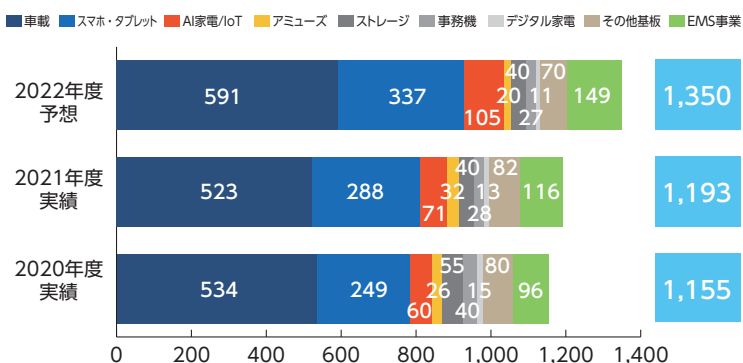
	2021年度実績	2022年度予想	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	1,193	1,350	157	13.2%
営業利益	67	95	28	42.7%
営業利益率	5.6%	7.0%		
経常利益	57	87	30	52.7%
経常利益率	4.8%	6.4%		
親会社株主に帰属する当期純利益	46	75	29	61.6%
当期純利益率	3.9%	5.6%		
期中平均為替レート(円/USD)	105.93	108.00		
配当	20円	40円		
自己資本比率	28.5%	32%		
売上高有利子負債比率	56.5%	44%		
1株当たり当期純利益	177.33円	288円		

2022年3月期 商品別収益予想 (単位: 億円)

	2021年度実績		2022年度予想		前年比	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
		営業利益率		営業利益率	伸び率	伸び率
車載	523	36	591	38	68	2
		6.9%		6.4%	13.0%	5.6%
スマートフォン タブレット	288	21	337	34	49	13
		7.3%		10.1%	17.0%	61.9%
AI家電・IoT・ アミューズメント	103	8	125	13	22	5
		7.8%		10.4%	21.4%	62.5%
その他基板	163	2	148	9	-15	7
		1.2%		6.1%	-9.2%	350.0%
EMS	116	0	149	1	33	1
		0.0%		0.7%	28.4%	-
合計	1,193	67	1,350	95	157	28
		5.6%		7.0%	13.2%	42.7%

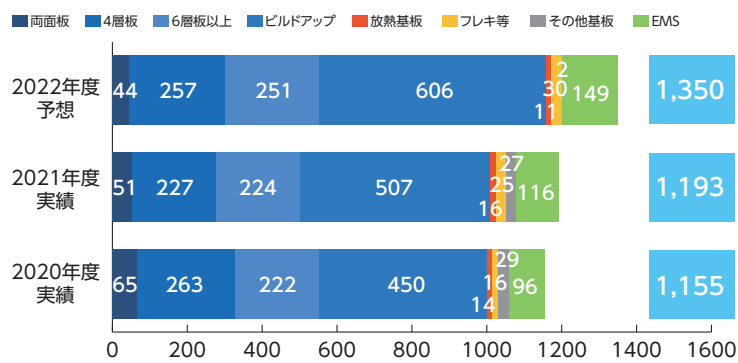
商品別売上高 実績・予想

(単位: 億円)



仕様別売上高 実績・予想

(単位: 億円)



モノづくり改革への取り組み

当社グループは、「Eco Smart Factory」をテーマにモノづくり改革を推進しております。取り組みとしては、生産作業のロボットへの置き換え、工場内物流の自動化、生産設備や検査機器を組み入れたワンライン・インライン化を実施してまいります。また、生産設備のIoT化により監視や防災対策を行い、工場の安定稼働を推進するとともに、環境負荷低減のため生産設備の省エネ化や廃棄物のリサイクルなどを一層強化してまいります。CO₂削減に向けた取り組みとしては、国内モデル工場において太陽光発電を増設するとともに、バイオマス発電など再生可能エネルギーによる生産体制への切り替えに取り組んでまいります。

生産拠点の能力増強と設備投資

当社グループの売上高は、「基板事業の2本柱」として、貫通基板中心の車載向け基板とビルドアップ基板中心のスマートフォン分野が牽引してきました。直近の受注動向は極めて好調な状況が継続しており、既存工場のボトルネックを解消する投資を進めることにより生産の拡大を進めております。近時はモジュール基板を使用した通信モジュールやメモリーモジュール分野の需要が急速に伸長する見通しとなっております。この分野を「第3の柱」の柱とするべく、ベトナム第3工場にMSAP工法による生産ライン投資を進めており、今秋に生産開始を予定するほか、日本や中国でもモジュール基板の生産体制を整備し、世界トップレベルを目指してまいります。

今後に向けては、大変多くの受注を頂いており生産能力の拡大が課題となっております。このため工場建設を含めた増産についても視野に入れ検討を進めてまいります。

財務バランスの改善

当社グループの財務面の課題としては有利子負債削減が挙げられます。2019年3月期～2020年3月期においては、ベトナム第3工場建設の投資で有利子負債は横ばいとなりましたが、2021年3月期～2022年3月期は投資の抑制と利益の拡大により有利子負債を削減してまいります。

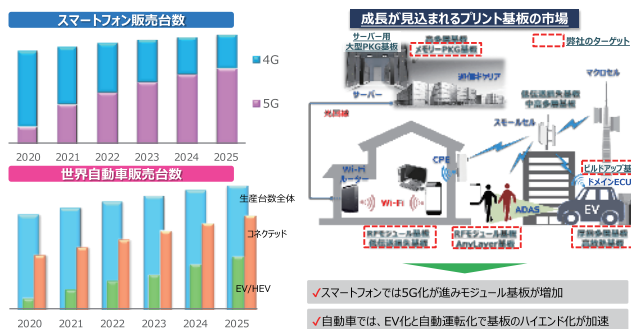
配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益向上を経営の重点課題の一つとしております。当面は、企業規模拡大のための投資を優先し、売上金額の増加に注力いたします。これに合わせ利益金額を増加させ、配当金額の増加を図ってまいります。来期は業績の拡大を見込んでおり、過去最大の利益水準を想定しております。これを受けて年間配当は、1株当たり40円を予想しております。また、600,000株を上限に自己株式の取得を予定しており株主還元の充実に努めてまいります。

株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーのご支援、ご期待にお応えするべく、改善のための各々の施策に全力で取り組み、業績と企業価値の向上に努めてまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

市場動向

DX実現のために、高速通信向けのプリント基板市場は大幅に増加



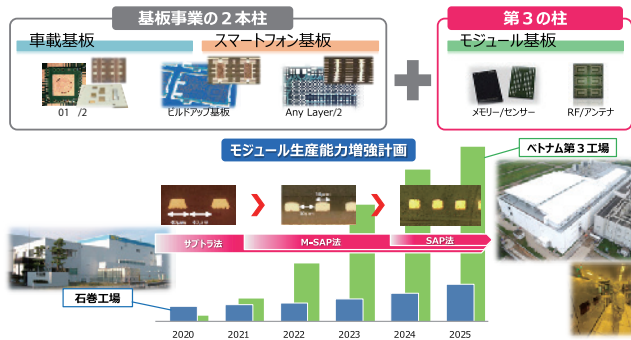
メイコーの中期生産戦略

長年培ってきた擦り合わせ技術을ベースにモノづくり改善強化を更に加速し、常に最先端分野への挑戦と幅広い商品群を整え、お客様への安定供給とサービス拡充を図ってまいります。



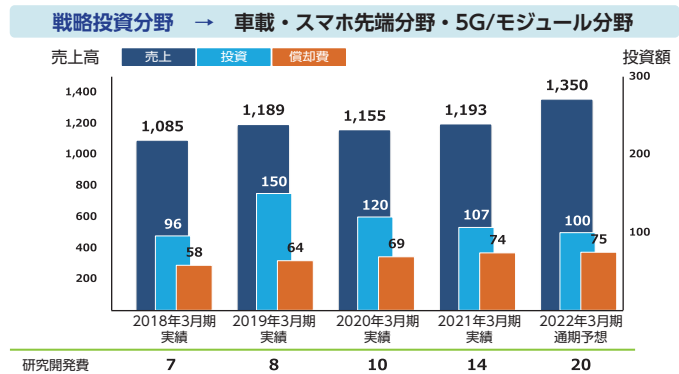
生産拠点の能力増強

車載、スマートフォン事業の増強に加え、モジュール基板分野でも世界トップレベルを目指す!

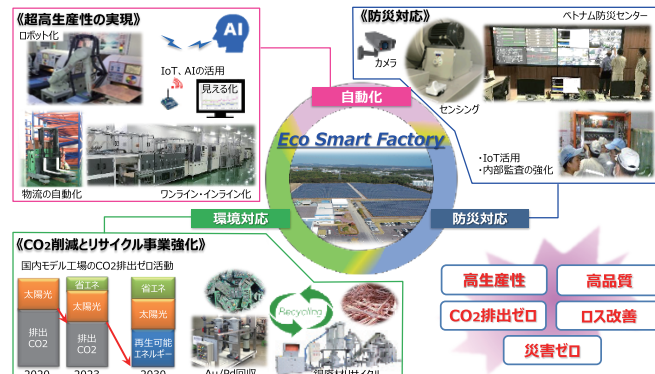


設備投資

(単位: 億円)



モノづくり改革への取り組み





社外取締役

小林 俊文

2020年11月より社外取締役として職務を遂行させていただいております。このコロナ禍の中、我々を取り巻く環境は、今までの延長線上にはない大きなうねりの中での舵取りになってきています。Web化、EV化、高速伝送化、脱炭素化などの大きな潮流は、新分野、新技術による市場拡大のチャンスでもあります。この環境下、全社一丸となって、今まで培ってきた生産力、技術力、営業力、品質力など、企業力をさらに高めることが重要です。現在、強いリーダーシップのもと、ベクトルは定かであり着実に前進しております。

グローバルな競争体制も整ってきております。

これからは、ESGの重要性を見据えながら、企業価値を高め、社外取締役として、意見や提案を行い、当社の発展とステークホルダーの皆様への貢献に努力して参ります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

コーポレートデータ (2021年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社メイコー
設立	1975年11月25日
資本金	12,888百万円
従業員数	13,721名(連結) (国内861名・海外12,860名)
主な事業内容	電子回路基板等の設計、製造および販売 ならびにこれらの付随業務に関する電子 関連事業

役員

代表取締役社長執行役員	名屋 佑一郎
取締役専務執行役員	篠崎 政邦
取締役常務執行役員	松田 孝広
取締役常務執行役員	和田 純也
取締役	申 允浩
取締役	土屋 奈生
取締役	西山 洋介
取締役	原田 隆
取締役	小林 俊文
常勤監査役	露木 豊彦
監査役	佐藤 孝幸
監査役	宮内 弘

関連会社

株式会社山形メイコー	電子関連事業
株式会社メイコーテック	電子関連事業
株式会社メイコーテクノ	電子関連事業
名幸電子(広州南沙)有限公司	電子関連事業
名幸電子(武漢)有限公司	電子関連事業
名幸電子香港有限公司	電子関連事業
広州斯皮德貿易有限公司	電子関連事業
Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.	電子関連事業
Meiko Electronics Thang Long Co., Ltd.	電子関連事業
Meiko Electronics America, Inc.	電子関連事業
Meiko Electronics Europe GmbH	電子関連事業
Meiko Towada Vietnam Co., Ltd.	電子関連事業

株式情報

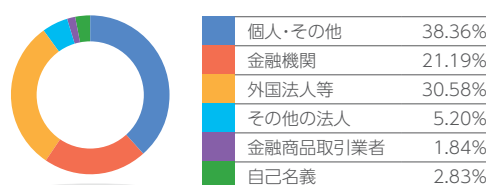
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	26,043,814株 (自己株式 759,506株を除く)
株主数	3,810名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名屋 佑一郎	4,703	18.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,997	7.67
CLEARSTREAM BANKING S.A.	1,458	5.60
PICTET AND CIE (EUROPE) S.A.	1,333	5.12
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC /FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,280	4.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,031	3.96
名幸興産株式会社	608	2.34
有限会社ユーホー	521	2.00
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	450	1.73
名屋 精一	435	1.67

※当社は、自己株式759,506株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況(普通株式)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
公告の方法	電子公告により当社ウェブサイトに掲載 https://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載

株式に関するお問合せ

- 住所変更、配当金受取り方法の変更等のお手続きは、お取引の証券会社にお問合せください。
- 証券会社の口座をご利用でない株主様、未払配当金のお手続きは、上記三井住友信託銀行証券代行部にお問合せください。



本社 〒252-1104 神奈川県横須市大上5-14-15 ホームページ <https://www.meiko-elec.com/>
TEL: 0467 (76) 6001 (大代表)

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見通しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報および当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいてい
ます。実際の業績は、さまざまな要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。